

# かんばしの風

令和7年3月18日  
富士市立田子浦中学校  
学校だより学年末号

校訓 『美に挑む』  
学校教育目標 『自分から ~つながる~』  
重点目標 『たくましさ やさしさ』

## バトンをつなぐ

桜のつぼみが膨らみ、春の訪れを感じる頃となりました。令和6年度は、保護者の皆様、地域の皆様  
に多大な御協力をいただき、田子浦中学校の教育を進めることができました。心より感謝申し上げます。

さて、3月13日に「3年生を送る会」が開かれました。1・2年生が、1年間学校のリーダーとして  
支えてくれた3年生に感謝の気持ちを伝えました。劇や「全力少年」の合唱は3年生への感謝の気持  
ちがこもったとてもすてきなものでした。田子浦中を転任した先生方のメッセージも3年生にとって、  
心に残るすてきなプレゼントだったと思います。3年生も、お礼に「3月9日」の歌をプレゼントしま  
した。会の企画・運営に努めた生徒会、限られた時間の中での準備でしたが、一人一人が自分の役割を  
自覚し、立派に行うことができました。学校では、この3送会をとても大切な行事として位置付けてい  
ます。学校運営が3年生から2年生に移る大きな節目であり、子どもたち自身の心もひとつ大きく変わ  
っていくときです。3年生の合唱を聴いているときの1・2年生の顔が引き締まり、リーダーとなって  
学校を引っ張っていくという自覚を、子どもたちのまなざしや言葉から感じ取ることができました。バ  
トンがつながれた瞬間でした。とてもすばらしい会だったと思います。

学校では、来年度に向けて準備を進めております。来年度も学校教育目標を「自分から~つながる~」  
としました。田子浦小中が9年間を見据えて“自分から”という目標を統一し、同じ方向で進んでいきま  
す。また、重点目標は「たくましさ・やさしさ」です。子どもたちが学校という多様な仲間と交わる社  
会の中で、自分自身のこの両面を意識することや育てていくことが大切であると感じています。「たく  
ましさ」が比較的発揮されている子どもには、自分の中の「やさしさ」を意識できるようにしてい  
き、「やさしさ」が強く困難さに立ち止まってしまうような子どもには「たくましさ」を伸ばし向き合っ  
ていく強さを、すべての教育活動において意識していきたいと考えています。

子どもたちは、ますます変化の激しい時代を生き抜いていきます。その中で、少々のことではへこた  
れない強さ、人と上手にかかわって力を合わせていく柔軟さ、未知の状況にも対応できる豊かな想像力、  
課題に対して自分で考え立ち向かう心、そうした資質をもった子どもたちを育てていきたいです。価値  
観や家庭環境も多様化し、社会情勢も刻々と変化する状況ではありますが、社会は人と人とのつながり  
で成り立っています。仲間と力を合わせてよりよい生活・社会づくりに一歩踏み出せる力をすべての教  
職員で育てていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度1年間、保護者や地域の  
皆様には、田子浦中学校の教育に御理解と御協力をい  
ただきましたこと、心より感謝申し上げます。コミュニ  
ティ・スクールとしても地域との絆をより深くめられる  
よう、これからも持続可能な活動としていくこと、小中一  
貫教育をより充実させていくことなどの課題も多くな  
りますが、これらのことに対し、これまで以上に教職員  
一同力を合わせ、子どもたちのより良い成長を育んで  
いきたいと思っております。保護者や地域の皆様におかれま  
しても、今までと変わらぬ御支援と御協力をよろしくお願い  
いたします。

